

2) SPP 第2回会合の議事概要

①SPP 第2回会合プレイベント (WUF10 サイドイベント) の議事概要

Minutes of the side event of WUF10

Implementing Territorial/Spatial Planning Systems and Strengthening Local Capacities to Achieve SDGs and NUA (hosted by the Spatial Planning Platform (SPP) Secretariat) at the 10th session of the World Urban Forum

Date: 10 February 2020

Time: 12:30 - 13:30

Place: Hall 3: Room 13, Abu Dhabi National Exhibition Centre, UAE

はじめに

(山崎律子、モデレーター)

このセッションのモデレーター山崎律子です。皆様ご参加いただきありがとうございます。このセッションの議長を日本の国土交通省の栗田卓也国土交通審議官にお願い致します。ありがとうございます。

Spatial Planning Platform (SPP)

a new initiative from HABITAT III



あいさつ

(栗田卓也、セッション議長、国土交通審議官)

栗田卓也です。私は日本政府のインフラ担当の副大臣です。WUF10でサイドイベント「地域空間計画システムを実行し、SDGs及びニューアーバンアジェンダ (NUA) を達成するための能力

を向上させる」-を共にすることができ、大変嬉しく思います。

また、このイベントは SPP の第 2 回会合の一部でもあります。SPP の会合は、HabitatIII で日本政府から提案され、第 1 回の会合が 2 年前の 2018 年 8 月に福岡で開催されました。SPP の目標は、空間計画に関するネットワーキング、経験の共有、対等な関係での学習を通じて、NUA や SDGs の達成を支援することです。

さて、ここには多くの地域から中央政府・地方政府から、また民間からもすぐれたスピーカーにお集まりいただきました。最初は、ウガンダの都市開発国務大臣 Isaac Isanga Musumba 氏です。そしてまたウガンダの土地・住宅・都市開発省の計画・都市開発ディレクターの Vincent B.Byendaimira 氏です。また、マレーシアからは Dr.Alias bin Rameli。彼は PLANMalaysia の研究開発部のディレクターです。インドネシアからは Dr.Chairil Abdini、インドネシアの国家開発計画省の首都移転計画の長です。モザンビークからは Aderito Wetela 氏、彼は土地・環境・地方開発省の空間計画及び定住の国家ディレクターです。また、スペインからはカタルーニャ政府の MarcDarder,氏、カタルーニャ政府の地域・持続可能性省の技術部門の長です。また、アブダビからは Nikola Vujevic 氏、彼は自治体及び交通省の Al Dhafra 地域計画及び政策局の上席アソシエイトプランナーです。日本からは浦雅之氏、彼は日本の UR の国際ビジネス部のディレクターです。さらに日本から深沢良信氏、彼は JR 西日本の海外ビジネス部のディレクターです。

さて、ここでこのセッションのモデレーターの山崎律子に代わります。

(モデレーター)

ありがとうございます、議長。ウガンダの Isaac Isanga Musumba 氏からセッションを始めたいと思います。おいでいただき本当にありがとうございます。



スピーチ

(Isaac Isanga Musumba 氏、都市開発担当国務大臣、ウガンダ)

ありがとうございます。みなさん、良いニュースと悪いニュースがあります。悪いニュースとは、ウガンダ政府が空間計画に真剣に注意を払ってこなかったことで、結果として、国内で多くの無計画な開発が行われました。良いニュースとは、現在では物的計画が再び優先的なものとなったことです。政府は、物的計画を普及させるために制度的・法的枠組みを構築することに多くの注意を払っています。これは、都市地域が年に 5.2% という高い率で伸びていることを考慮したためです。そこで、都市地域はより多くの人を受け入れ、年々拡大しています。結局、政府はより良い開発を行うためには、フィジカルプランが優先されなければならないことを認識しました。私たちは都市政策の策定に加わっており、政府もそれを合意し、採用しています。現在、私たちは都市法を策定しています。また、国際的なガイドラインや教育的な都市計画を国内向けのものにしており、ウガンダの空間計画のガイドとして普及及び採択のみを待っているところです。

最近、物的計画が優先的なものとされました。政府は新たな法—物的計画修正法—を成立させました。これは、効果的で改良された空間計画のために新たな要素となりました。最先端技術を使った物的計画の現代的な方法に焦点を当て続けています。私たちは物的計画を行うための高いレベルの技術を使い始めています。過去には、物的計画は古くて伝統的な方法で行われていました。それは効率的でも効果的でもありませんでした。基本的に政府は法を採択し、私たちは新たな知識や専門性をもった人々と協力することにより、国民の物的計画への需要に応じられるようになります。ありがとうございました。

(モデレーター)

ありがとうございます。さて、プレゼンテーションをはじめます。

第1プレゼンテーション - ウガンダの最初の国家物的開発計画 (NPDP)

(Vincent B.Byendaimira, 物的計画及び都市開発ディレクター、土地・住宅・都市開発省、ウガンダ)

1. ウガンダの物的計画体系

- 以下の5つのレベルがあります。1) 国家物的開発計画 National physical development plans (PDPs), 2) 地域 PDPs, 3) ディストリクト PDPs; 行政区域及び5万~40万人の人口, 4) 都市 PDPs, 5) 地方 PDPs; 計画を必要としている地域であるが、まだ都市レベルの大きさでない地域

2. 主要仮説

- 国家物的開発計画には主要な仮説があります。私たちはより多くの人々が都市に住むことを想定しています。
- この国家 PDPs には二つの大きな変数があります。それは人口と国土です。

3. 4つの緩和手段

- 4つの緩和手段あります。(slide 9)空間経済、定住システム、定住の実施、インフラ。インフラを前提とした定住システムが国家計画の鍵です。

4. 交通

- 国家 PDPs では、国レベルでは公共交通が鍵であると見ています。
- 計画では、新たな国レベルでの高速道路システムを提案しています。私たちは可能な限り全てのインフラを一カ所に整備しようとしているので、それを共有するためのインフラとなる回廊が必要となります。

5. 提案

- スライド(slide 11)に見られる三角形は、主要高速道路を示しています。黄色は主要な都市定住地域。その内、いくつかは既存のものですが、多くは計画されたものです。
- 首都の Kampala 市は300万人の人口ですが、一方で2番目の都市は20万人未満です。Kampala 市を小さくすることはできませんが、他の地方都市が Kampala 市に追いついて来るでしょう。これは複合計画で多くの定住センター、特に都市向けの提案です。

6. 結論

- 国家 PDPs では国土空間における多様な需要を国家的なものとするを目的としています。また、土地利用転換のために計画された都市化が鍵であると認識されています。
- 下位レベルの計画と効果的な空間計画の実施によってのみ、良い結果が生まれると考えています。
- 下位レベルの計画は、国家 PDPs に沿ったものとなることを期待しています。

第2プレゼンテーション - 持続可能な開発アジェンダの達成: マレーシア空間計画イニシアチブ (Alias bin Rameli, director, research and development division, PLAN Malaysia)

1. マレーシアの開発計画フレームワーク

- 概要：マレーシアには空間計画開発の3段階のステージがあります。1) 国の計画、2) 地域および州の計画、3) 地方の計画レベル。他の国も同様の段階があると思います。
- 計画ガバナンス：連邦レベルで首相が議長を務める国家計画委員会があります。州レベルでは、州の首長が議長を務める州計画委員会があり、地方レベルでも多くの市長がいます。これらの活動はすべて、連邦憲法および **town and country planning act** によって管理されています。
- 国家レベルの計画では、都市人口や人口見通しなどの特定の目標を設定しています。
- 2040年を基準に都市化率を設定しました。都市化率が85%のレベルを超えないようにする必要があります。
- また、二酸化炭素排出量の目標、インフラストラクチャの目標、および公共交通機関の目標を設定します。
- 国のフィジカルプランに加えて、マレーシアには「国家都市化政策」と呼ばれる空間政策があります。政策のビジョンといくつかの原則は、連邦レベルの計画で国家フィジカルプランに設定された政策に従うことです。
- また、計画ガイドライン、都市計画システム、およびマレーシアでのビッグデータの実装の効率性を確保するための計画システムに関する取り組みを策定しました。
- MURNI ネット（持続可能な開発のためのマレーシア都市農村国家指標ネットワーク）と名付けられたイニシアチブの1つは、都市の持続可能性評価を策定することです。
- MURNI ネットには、マレーシアのすべての都市および農村居住者の都市の持続可能性の評価を効率的に保証するための多くの指標、ディメンションがあります。

2. 空間計画イニシアチブと持続可能な開発について

- すべての国家計画イニシアチブをSDGsのターゲットに沿ってマッピングし、位置付けることにより、国家計画レベルの努力をSDGsに当てはめてみました。空間計画の取り組みは、いくつかのゴールとターゲットを達成しています。
- 国家レベル以外では、MURNI ネットの観点から、過去20年間、マレーシアの100以上の都市を対象に、都市の持続可能性の評価を実施しました。また、これらのコンポーネントを、特に持続可能で安全な都市とコミュニティに関するNo.11として、SDGsに含めるよう努めています。

- MURNI ネットは、マレーシアのすべての市民のために、17 の SDGs から 10 つの優先的課題事項を設定しました。これは、マレーシアの持続可能性評価の文脈において重要かつ重大です。

3. SDGs アジェンダの促進と実施.

- 国内のイニシアチブから、私たちは地元の計画の文脈で気候変動緩和策を統合しました。
- 低炭素都市に関する空間ガイドラインを含む、多くの取り組みが行われています。このガイドラインが SDGs No.7、11、13、15 の達成に役立つことを願っています。
- また、災害復旧管理を地域計画に統合するという課題もあります。
- 私たちは、都市の広がりや拡大を制限しようとしています。クアラルンプールの公共交通機関が整備されている範囲内で開発を最大限にしようとし、また過去 10 年間に安全都市プログラムを実施してきています。安全都市プログラムを実施するために国家と基本基金から地方自治体に与えられた多くの基金があります。非常に成功したプログラムと考えることができます。
- また、地方自治体に適用されるグリーンネイバーフッドのガイドラインとイニシアチブもあります。
- 私たちはイニシアチブをとろうとしています、これは都市に小さいがおそらく大きい影響を与える可能性があります。
- 私たちは、SDGs を紹介し、ローカライズすることを目的とした、ポケットパーク再生イニシアチブを通じて、健全な歩行可能な都市と公共交通指向型都市と場所を作っています。

4. 持続可能な開発イニシアチブを管理する方法.

- 最初の例は MURNI ネットです。過去 20 年間、すべての地方自治体は互いに競い合いました。しかし、今は競争する必要はありません。連邦、州、および地方の機関は、マレーシアの都市の持続可能な開発の評価に関するプラン・マレーシアの取り組みを支援し、評価しています。
- 2 番目の例は、安全都市プログラムです。これは、連邦および州が資金を提供し、地方自治体の実施しています。過去の経験では、都市計画者が警察と協力して対処することは非常に困難でしたが、現在では、警察が都市部で犯罪活動を減らすために都市計画者に協力を仰ぐように変わってきています。

第3 プレゼンテーション - インドネシアにおける SDGs 及び NUA 達成のための地域/空間計画システムの実施及び地方能力の強化/

(Dr. Chairil Abdini、首都移転計画の長、国家開発計画省、インドネシア)

1. 概要

- インドネシアは島国であるため、地域を等しく開発し、17,000の島々を結ぶことが課題とされています。
- 大きな島は、カリマンタン、スマトラ、ジャワ、パプア、スラワシです。
- 北西部から南東部までの距離はロンドンからテヘラン、あるいはロサンゼルスからニューヨークまでの距離と同じくらいです。

2. 政策、計画、地域間の不均衡

- 一連の空間計画政策及び地域経済政策が1992年から2009年まで実施されました。
- 人口配分では、インドネシア人の80%はジャワとスマトラに住んでいます。
- GDPの配分も同様で、GDPの80%はジャワとスマトラに集中しています。
- 1993年と2018年を比べた場合、地域における経済状況に大きな改善は見られません。
- 1993年に81.6%の経済活動はジャワとスマトラに集中していましたが、これが2018年にはまだ80%でした。一連の政策が策定・実施されたにもかかわらず、不均衡の程度はまだ高い状況です。

3. ウィリアムソン指標

- ウィリアムソン指標では地域経済の高い不均衡が示されています。

4. 一人当たり GDP

- 地域の一人当たり GDP は、国全体の平均と比べた場合、ジャカルタは平均の5倍です。
- 東カリマンタン州では国平均の3倍であり、東カリマンタンは将来、国の首都が置かれます。

5. 島国の都市化

- 島国の都市化では何が課題か？2015年にインドネシアの人口は約2億4,500万人と推計されています。しかし、2045年にはほぼ3億2千万人になります。
- 現在は、約50から60%の人々が都市に住んでいます。しかし、2045年にはインドネシア人の70%は都市に住むでしょう。

6. 争点と機会

- 中国では、1%の都市化は3%のGDPの上昇をもたらします。東アジア及び太平洋諸国では約2.7%。インドネシアでは1.4%の上昇をもたらします。
- 都市化の経済成長への影響は、インドネシアにおける効果は、中国における効果と比べ小さいものです。
- 都市化の問題としては、基本サーフェイスとインフラの問題があります。

7. 優先的な地域開発

- 何を優先させるか？大都市圏の開発が必要ですが、ジャワではなく、国の全ての地域において必要です。
- 新たな都市を開発することが必要です。また、同様にジャワ以外で工業地区の開発が必要です。

8. 持続可能都市指標

- どのように SDGs や NUA の達成度を評価するか？私たちは持続可能都市指標を開発しました。
- 現在、私たちはどのような政策上のインセンティブが提供できるか検討しています。それは、多分都市への物理的な移動に関するものになるでしょう。もし、SDGs 及び NUA が達成されれば、都市への物理的移動は増加するでしょう。

第4プレゼンテーション モザンビークにおける SDGs に沿った地域計画の貢献

(Mr. Adérito Wetela, National Director for Spatial Planning and Resettlement, Ministry of Land and Environment, Mozambique)

1. 概要

- モザンビークはアフリカ南東部の沿岸に位置し、その人口は 2017 年のセンサスによれば 2,800 万人となっています。
- その地方制度は、11 の州、154 のディストリクト、419 の行政区画、1,052 のローカリティ、53 の市町村から成り立っています。

2. 地域計画システム

- 政府は 2007 年及び 2008 年に地域開発のための法的な枠組みを認可しました。そこでは以下の 8 つの方策が定められました- the National Territorial Development Plan, the Special Territorial Plan, the Provincial Plan for Territorial Development, District Land Use Plan, Urban Structure Plan, and then General and Partial Urbanization Plans, and the Detail Plans。

3. 地域計画の方策

- これらの方策は、過去 20 年間にそれぞれのプロビンス、ディストリクト及び地方政府のためにデザインされました。
- 我々は、こうした諸方策を策定するために地方政府を支援してきました。

4. 国家地域開発計画 (National Territorial development plan)

- 地域計画は SDGs 及び他の持続可能な開発に沿ったものとなることを意図しています。
- 国家地域開発計画は、9 つの戦略目標に分けられています。これらは、自然保護、人的リスクや他の状況への対応など全ての分野におけるより力強い開発をねらいとしたものです。

5. 良い事例

- 我々は、様々な形でディストリクトの計画 (詳細計画)、特に居住施設の整備による再定住にも参画している。

- 既に 21 の近隣居住区が整備され大きな村となっている

6. モザンビークにおける地域計画の課題

- 都市計画にはいくつかの課題が存在しています。それらは、地域計画の制度的枠組みやディストリクトの技術者や市町村、コミュニティリーダーのための訓練や資格のための諸施策の実施といったものです。
- 地域計画、特に詳細計画の実施に当たって重要なのは、計画をチェックするモニタリングと様々な実施機関間の調整の改善です。

7. 結論

- モザンビークには、ここで述べただけではなく、多くの地域計画があります。私たちは、他の計画等の実行のために取り組んでいます。ありがとうございました。

(モデレーター)

中央政府からのスピーカーの皆さんありがとうございました。2 つ目のラウンドに入りたいと思います。地方政府及び民間セクターからのものです。このセッションの目的を説明したいと思います。このセッションは空間計画は中央政府、地方政府、民間セクターなどの非常に多くの関係者を含んでいることを示します。また、多くの良質な実践を扱うセッションの一つです。このセッションは本質的で簡潔なレビューです。皆さんが PDF ファイルをダウンロードできるように、SPP のウェブサイトには全てのプレゼンテーションをアップする予定です。同様に、バーチャルコミュニティを通じて、皆様の意見を交換することも可能です。ありがとうございました。

第 5 プレゼンテーション - 地域の都市アジェンダにおける統合された共同責任の育成

(Mr. Marc Darder、技術委員会長の長、地域及び持続可能性省、カタロニア)

1. 概要

- カタロニア地域政府の代表として、都市・地域計画に多くの経験を有しています。
- 1859 年にバルセロナの最初の拡張計画が策定されました。1930 年にはカタロニアにおける最初の地域計画が策定されました。1956 年にはスペインで初となる都市計画法制が策定され、同様に 1978 年には最初の地域都市計画法制も整備されました。私たちは都市計画において長い伝統を有しています。

2. パラダイム変化

- 現今では、パラダイムの変化がおきています。その第一の理由としては、カタロニアにおける都市化が最高値に達しているためです。私たちの都市は、人口も含めこれ以上成長しないと予測されます。実際、いくつかの都市の人口は減少しています。そこで、都市再生が重要になります。
- 私たちはエネルギー戦略にこだわっています。我々のモビリティとエネルギープロセスをよく認識したいと考えています。

3. 貧困と不平等
 - 都市には貧困と不平等があり、これらを我々の計画システムに埋め込まなければいけません。
4. 都市モデル
 - 我々の都市モデルは最も効率的なものにはなっておりません。ほとんどの我々のモデルはスプロール化しており、私たちが達成したいと考えている大きなコンパクトシティにはなっておりません。
5. 繁栄
 - 経済は我々の都市に大きなインパクトを持っており、我々の場合観光。バルセロナにおける巨大な観光は大きな資産です。しかし、同時に市民との間では大きな摩擦もあります。
6. 気候変動
 - 気候変動は大変重要です。海面上昇がカタロニアの沿岸にどのように影響するか。カタロニアは80%の人口が住んでおり、我々にとって大きな問題です。
7. ガバナンス
 - 全てのガバナンスプロセスに計画システムを埋め込まなければいけない。カタロニアは首都として人口の80%が集まっています。
 - カタロニア人の9人中8人は人口2万人以上の都市に住んでいます。残りの地域にはそれほど人が住んでいませんが、中小の都市の間にはネットワーク化されています。
8. カタロニアの都市アジェンダ
 - 私たちはカタロニアの都市アジェンダを実行することを通して、我々の都市システムを考え直しているところです。
 - アジェンダは6つの目標を掲げています（健康、繁栄、都市の福祉、環境面、都市の質、効率的なガバナンス）。
 - 我々の主な関心は、いかにこれらの様々な領域を統合するか、いかに地域の建築物のようなものが与える悪影響を排除できるかです。
 - 我々はSDGsに合わせて我々の全ての政策を調整しているところです。我々の見通しでは、都市地域で実行されると思います。SDGsの17の目標及び169のターゲットの25%は我々のアジェンダで実施されます。
9. カタロニアの都市会議
 - 新たなパラダイムを創造するためのアイデアがあります。私たちだけではそれを実行することはできません。私たちには計画も方法も能力もありますが、私たちはもっと多くの都市、市民、民間セクターの参加を必要としています。
 - それが、我々が都市会議と呼ぶ組織をつくりあげた理由です。次の10年間の政策をデザインするために主要なアクターを集めることができます。
10. 結論
 - 都市のための新たな法律と新たな計画を策定できることを望みます。

第6プレゼンテーション 60年間の計画及び都市化から学んだこと

(Mr. Nikola Vujevic, Senior Associate Planner, Al Dhafra Region, Planning and Policy Section, Department of Municipality and Transport, UAE)

1. はじめに

- 私は過去 11 年間プランナーとして UAE で働いてきました。地方自治体及び交通省を代表して、UAE、アブダビへいらっしゃった皆様を歓迎します。
- 私は計画システムの短い概要及びどのように私たちが SDGs に対応しているかについて、過去 10 年間の主要テーマに焦点を当ててご紹介したいと思います。

2. アブダビにおける計画の評価

- 過去 60 年間に私たちは大きな成長を実現するために急速な都市化を経験してきました。
- 1960 年代に UAE が統一された頃に計画プロセスは始まりました。1967 年に Sheikh Zayed が、都市のための最初の計画策定のために日本から高橋博士を招きました。ご覧になっている写真は、1968 年から二人が都市のための最初の計画に取り組んでいる姿です。この街を歩いたり、運転したりする際に、主要道路や街路計画の開発におけるその計画の足跡をご覧になれると思います。
- アブダビの人口は国全体の 3 分の 1 を占めています。また、UAE の人口総数の 15% が首長国ローカルの人口で、85% は移民です。
- アブダビの面積は UAE の約 87% を占めています。

3. 開発の枠組み

- 開発の枠組みは 2007 年に開始されました。Abu Dhabi Economic Vision は 2008 年に策定された開発ビジョンと共に実施されています。

4. 自治体及び交通省の役割

- わが省は、土地利用計画及び交通計画に関して 5 つの役割を担当しています。(1) 総合計画の策定、(2) 全ての実施計画への支援、(3) 規制や政策の策定、(4) 開発の認可、(5) 持続可能な諸原則が開発の適応されることを確実にすること。

5. 都市計画システムの階層

- 全ては Vision 2030 (both Urban Planning and Economic) をはじめ、地域計画の枠組み、海洋及び戦略的な交通マスタープランや規制やガイドラインがあります。
- ガイドラインには計画のより詳細な部分も含まれています。

6. 首長国-幅広い戦略

- アブダビ首長国は Al Ain、 Abu Dhabi、 Al Dhafra の 3 つの地域に分けられます。我々はこれらの地域に対して一つのフレームワークビジョンを持っています。さらに、近隣ブロックに対する計画が詳細化され、各区画への規制が策定されました。

7. 都市計画の文書

- 我々は 10 のガイドラインを持っています。これらには、開発、安全、警備、公共空間、街路、ユーティリティ、コミュニティ施設及びモスクが含まれます。

- 持続可能性に関するガイドラインは4つのセクションに分けられて文書収められています。

8. 利点

- このシステムから受けている主要な利点について焦点を当てて説明したいと思います。世界中から多くの専門家が来ています。
- 我々の主要な目的はパフォーマンスと専門家の働きの基準を統一することです。なお、これらの専門家を彼らの育った町の外で訓練させることを目標としています。
- これらのガイドラインを通じて、SDGsのいくつかに到達する事例をいくつか紹介したいと思います。例えば、都市の街頭マニュアルは、開発に使う土地を減らしました。この10年間で、約33%の開発を土地を使わずに行いました。これはより安価で、より簡単で、より持続可能な開発だと思います。

9. Estidama

- Estidama は Abu Dhabi's Plan 2030 の目玉とも言えるものです>(*Estidamaとは計画、デザイン、建設、建築物やコミュニティの運営に関する一連の持続可能ガイドライン)
- Estidama は Pearl Rating System により、環境、社会、文化、経済の観点から建築物を評価します。それは、以下の4つの部分から構成されています、(1) コミュニティ開発 (2) 建築物, (3) UAEにおける住宅 (4) 公共空間の計画。
- Estidama プログラムが8年前に始まって以来、我々は14,000軒以上の住宅及び2,300万㎡の延床面積をランク付けしました。
- このプログラムはコミュニティにも行き渡っています。例えば、151の学校がEstidamaの持続可能な基準をベースにして改善されました。我々のチームは実際コミュニティに行き、子供たちと一緒に活動して、持続可能な原則を教えています。

10. 結論

- 最後に主要な統計として、私たちはEstidama及びそのガイドラインにより過去8年間500以上のセッションを行い、13,000人以上の人々を訓練しました。
- このコミュニケーションはSDGsの主要な成果でした。もし、SDGsを達成したいならば、計画しているコミュニティとコミュニケーションすることに力をいれるべき、また行っている仕事の専門性を向上させるべきです。

第7プレゼンテーションー我々の都市計画システムが持続可能な開発目標にどのように貢献したか

(浦雅之, UR 都市再生機構海外展開支援部国際戦略担当課長)

1. はじめに

- URによるSDG11の実施についてお話しします。SDG11の目標を達成するために、私たちは(1)土地利用の促進、(2)交通ノードの強化、(3)公共スペースの作成、および(4)TOD「公共交通指向型開発」を専門に実施しています。

2. 日本における TOD のニーズ
 - 乗客数については、日本の駅の多くがトップ 100 にリストされています。新宿駅は世界で最もにぎやかな場所であり、1 日あたり 300 万人以上が乗降します。
3. MM21、UR の現在のプロジェクト例、都市再生プロジェクト
 - みなとみらい 21（港の未来）、（MM21）というビッグプロジェクトを紹介しま
 - この大都市は現在、商業施設、ビジネス施設、マンションなどのさまざまな機能を備えています。
 - MM21 は、「車に依存しない都市」の TOD の優れた実践でよく知られていま
 - さらに、歩行者ネットワーク、動く歩道、バスネットワーク、およびオーシャンライナーがうまく整備されています。
4. 渋谷プロジェクト
 - 渋谷駅周辺で 4 つの大きなプロジェクトが進行中です。UR は土地区画整理プロ
 - 4 つのプロジェクトをスケジュールどおりに維持するには、調整組織が必要で
5. UR の業績とビジネス分野
 - 日本全体で 200 を超えるプロジェクト（主に TOD）に従事しています。
 - UR は、コンサルタント、コーディネーター、アドバイザーとしてあなたの国を
 - 現在、4 つの事業分野を有しています。(1) ニュータウン開発 (2) 賃貸住宅、

第 8 プレゼンテーションー空間/領域管理のツールとしての日本の TOD

(深沢良信、西日本鉄道株式会社海外事業担当顧問)

1. はじめに
 - 私は、顧問としての私の現在の職に就く前は、国連ハビタットのスタッフでした。民間部門の視点を提供します。
 - 福岡市の人口は約 500 万人であり、面積は 5,000 km²です。これは、毎日の通勤/買い物には良くも悪くもない状況です。
2. 西日本鉄道株式会社の概要
 - 西日本鉄道株式会社（NNR）は 1 世紀以上前に設立されました。NNR は、100 km を超える都市の通勤電車と 3,000 を超えるバスを運行し、毎日 100 万人の乗客を輸送しています。NNR は、住宅、オフィス、ホテル、商業開発、娯楽施設の建設なども行っています。

- NNR は、公共交通網とさまざまな都市開発イニシアチブのシナジー効果を活用しています。この考え方は、当社が福岡の成長に貢献したところであり、それが当社の成長にも繋がると思います。
- NNR の DNA は、長期的な観点から福岡の成長に貢献することです。
- この DNA は、時間の経過とともにさまざまな種類の TOD プラクティスを通じて進化してきました。

3. ビジネスモデルとしての TOD

- 鉄道の建設、郊外の住宅開発、ターミナルでの商業開発の組み合わせは、典型的な TOD プラクティスです。このビジネスモデルは、日本経済の近代化の進展と中流階級の家族の出現を背景に、1920 年に大阪の別の鉄道会社によって発明されました。これは、そのような家族の当時の新しいライフスタイルをサポートするためでした。
- このビジネスモデルの本質は、鉄道建設には大規模な長期投資が必要ですが、住宅や商業開発などのプロジェクトは土地価値の上昇を捉え、大規模投資の一部を短期的に回収することに貢献することです。
- 興味深いことに、このモデルは大阪の一人の紳士によって発明されました。彼は広い心を持っていて、100 年前に私たちの会社を含むすべての友人、会社とこの考えを共有しました。
- もう一つの方法は、駅の役割と駅近くの都市開発の統合です。NNR はエリア管理の概念も実行に移します。鉄道沿線のさまざまな市長との議論を通じて地域管理を統合します。

4. 日本の TOD のエッセンス

- 通学・通勤エリアの成功に対して責任を負う献身的なオペレーターが存在。
- 公共交通機関と都市開発イニシアチブの相乗効果を活用することが成功の鍵。

5. 他の国での可能性

- もちろん、時間と社会経済的背景が異なるため、この種のビジネスモデルを他の国ですぐに複製することはできません。しかし、皆さんの国でも似たような事を行おうとする起業家を見つけ、育てることは可能であると思います。
- この考えはこの本によってもたらされました。もっと知りたいのであれば、私のところに来てください。

あいさつ

(栗田卓也、セッション議長、国土交通省、国土交通審議官)

スピーカーの皆さんありがとうございました。時間が非常に足りないですが、心配しないでください。この興味深い議論を今日の午後 4 時 30 分からネットワーキングイベントとして隣のホールのルーム 15 で続けます。素晴らしいスピーカーの方々には拍手をお願いいたします。ありがとうございました。